

定

一先おきし海より代官の庄や山首の
のりもあつて、中野の村下代官
小首の細首のてらとあつて、お
代官并下代官、所入百石、人より
めきる并、きんと何より、お
お一押、おま、

一宮あの方、お下代、お時
から、おと、お、お、お、
お、お、お、お、お、お、

一宮あの方、お代官、お下代、お
お、お、お、お、お、お、

一宮、お村、お庄、お中、お使、お
お、お、お、お、お、お、

一宮、お村、お庄、お中、お使、お
お、お、お、お、お、お、

一宮、お村、お庄、お中、お使、お
お、お、お、お、お、お、

一宮、お村、お庄、お中、お使、お
お、お、お、お、お、お、

中し此のそん成りたる信あり
此の成りたる中し此の成りたる
の成りたる中し此の成りたる
此の成りたる中し此の成りたる
右十八日降る致仕の成りたる
并下代九つに成りたる中し
百七十九

寛永九子

申上二月

田舎之書

長七郎

丸田

長七郎